

福島大学総合教育研究センター主催
平成27年度「教育臨床」研修講座のご案内

後援／福島県教育委員会

平成27年度福島大学総合教育研究センター主催「教育臨床」研修講座を下記の要領で開催いたします。本研修講座は、教員やカウンセラー等を対象にして、子どもたちの不登校・いじめ・非行・発達障害・児童虐待等の問題行動に対する理解を深め、その対応を取り扱います。多くの方が応募くださいますようご案内申し上げます。

- ◇開催期間：平成27年5月～翌年2月。ただし、8月は休み。
- ◇開催日：毎月1回、第3水曜日。Aクラスは15時～17時、B、C、D、E、Gクラスは18時～20時開講。
- ◇場所：福島大学総合教育研究センター他学内
- ◇受講対象：教員、スクールカウンセラー、臨床心理士、保健師、児童指導員、ソーシャルワーカーなど
- ◇開講クラス・定員・講師：

Aクラス(昼間)：定員25名、青木真理教授（教育臨床）

学校とその周辺における事例についてグループスーパービジョンを行う。事例検討を通じて子ども、保護者との対応、チーム支援のありかたなどについて考える。

Bクラス(夜間)：定員25名、新任教員(予定)

学校生活に適応困難な事例に対して、学校と医療をつなぐ視点から総合的に理解し、その解決策を検討する。事例提出可能者を優先する。

Cクラス(夜間)：定員25名、渡辺 隆教授(児童福祉臨床)

事例検討(グループスーパービジョン、コンサルテーション)により、発達障害や子ども虐待への支援実践的手法を学ぶ。これらのテーマに限らないが、事例提供者を優先する。

Dクラス(夜間)：定員25名、生島 浩教授(非行問題・家族臨床)

不登校・いじめ・非行・障害などのある子どもとリスクを抱えた家族に関するケース・マネジメントの具体的な手法を受講者の実践事例などから学ぶ。

Eクラス(夜間)：定員25名、鈴木庸裕教授(学校福祉・生活指導)

学校・家庭・地域(専門機関)の連携を通じた子ども・家庭支援とチーム支援の方法技術について学ぶ。「スクールソーシャルワーカー」の人材育成講座。

Gクラス(夜間)：定員25名、内山登紀夫教授(児童精神医学)

広汎性発達障害を中心に、事例の診断・支援方法についての議論を中心に事例検討を行う。幼児期から学齢期のPDD、発達検査についての十分な知識と経験のある教師、臨床心理士、医師等を対象とするが、事例を提供できる方を優先する。

◇受講料：年額 15,000円(税込)/クラス(9回、18時間分)

※昼夜2クラスを受講する場合は、年額 30,000円(15,000円×2クラス)となります。

◇修了証：年間の出席が7割以上の者に修了証を授与します。

◇申込方法：受講希望者は下記の申込書(コピー可)に記入の上、Eメール又は郵送・FAXで申し込んでください。メールで申込み場合は、申込書の各項目①～⑧を本文に記載して送信ください。

★申込期限：平成27年3月31日(火)必着

◇送付先：〒960-1296 福島市金谷川1番地

福島大学総合教育研究センター 事務室 TEL 024-548-8110 FAX 024-548-6631

メールアドレス kyo-s@ipc.fukushima-u.ac.jp

◇結果通知：選考結果は4月中旬までに下記申込書③連絡先にご通知(郵送)いたします。

なお、受講可否通知にて受講料のお支払い方法をお知らせ致します。

平成27年度教育臨床研修講座 申込書

平成27年 月 日提出

ふりがな ①氏名・年齢			年齢	()歳
②勤務先 (H27.4.1以降)			職名	
③連絡先住所 ※該当する方に○をつけてください。	・勤務先 ・自宅	〒 —		
④電話・FAX等	電 話	()	—	
	F A X	()	—	
	メールアドレス			
⑤希望クラス	第1希望(クラス) 第2希望(クラス)	⑥事例の提出	可 ・ 不可 ※該当する方に○をつけてください。	
⑦受講経験	有 ・ 無 ※該当する方に○をつけてください。	※過去6年間(H21～26年度)受講した経験がある方は、当該年度ごとに受講クラス名(A～G)を以下に記入してください。 (21年度 クラス)(22年度 クラス)(23年度 クラス) (24年度 クラス)(25年度 クラス)(26年度 クラス)		
⑧志望理由				

※ 各クラスの定員に達した場合は、選考することがあります。